

特定健診受診率 向上対策は

五十嵐 多喜子 議員

答 保健師の増員と地域の協力で

医療費の給付の増加が平成22年度1・7%で近年では非常に少ない伸び。23年度若干ではあるが減少。水田コミセンで特定健診を実施した時の地域の協力は大きかった。参考に進めていくべきとは感じている。

りをめざし設立。現在は定住促進へと軸足が変化していないか。今後の市の課題は。

市長 行政区と校区コ

ミュニティ活動が並行している。今後の整理が課題だ。当面は全小学校区設立することが目的だ。

地域支援課長 校区コ

校区コミュニティがめざすものは

問 校区コミュニティは元気な筑後市の地域づく

り。歴史は始まったばかり。趣旨は一切変更していない。計画どおり運べるよう努力したい。

問 特定健診の受診状況は。

市長 今年は未受診者対策も含め、新たに保健師2名を雇用し、対策を強化した。

市民課長 平成23年度受診率は57%の目標に対して35・7%。今年度は2月に追加健診を実施予定。特定健診の目的は、医療費が減り市民の負担減につながることだ。片

市民課長 国保に占める

筑後市国民健康保険加入者の方へ

特定健診を受けましょう!

～年に一回、健診を受けて健康管理に役立てましょう～

このピンク色の封筒が届いていませんか?

この中には「特定健診受診券」が入っています

受診の際に必要なもの

①受診券、②保険証、③自己負担金 1,000円 (※70歳以上・住民税非課税世帯は500円)

対象者 40～74歳までの国保加入者

実施期間 平成24年2月1日～28日まで

特典 特定健診を受診された方には、「恋ははる優待券」をプレゼントします。

副知事 筑後市役所 特定健康診査 市民課 医療保険係 TEL:0942-65-7015
特定保健指導 健康づくり課 健康増進係 TEL:0942-53-4231

2月に追加で実施される特定健診

子育て支援の強化で 定住促進を

弥吉 治一郎 議員

答 学童保育所への補助金交付方法とも協議する

問 定住を促進し5万人都市をめざすには、近隣の市や町にない特色ある子育て支援策とアピールが必要だ。

市長 定住促進には子育て支援も非常に大きな役割を果たすと思う。

問 保育料は久留米市や大木町が安い。周辺市町の実情は。

市民課長 中学卒業まで医療費の助成をしている市もある。広川町は小3まで入院も無料、みやま市も小3まで入院、通院ともに実施している。

子育て支援課長 保育料の軽減は、筑後市が13%、久留米市は35%。学童保育に筑後市では、年間1,270万円補助している。

「おひさまハウス」並みの子育て支援を

問 学童保育は、一人あたりを基準とした補助金では、小規模学童は運営できない。

指導員の人件費や経常経費など、公費での負担範囲を確立し支援の拡充

市長 一人あたり1万2,000円の補助金の交付方法も協議する。

が必要だ。指導員の賃金も安すぎる。

「おひさまハウス」は正規職員で運営され利用は無料だ。

学童保育においてももつと保護者負担軽減を図るべきだ。



バランスのとれた子育て支援を (西牟田小学校区学童保育所)